

平成27年度 弘前大学グローバル人材育成事業
学生海外PBLプログラム報告書

申 請 者	所属部局・職名	保健学研究科・教授
	氏 名	中 村 敏 也
事 業 名	ストックホルム大学放射線科学集中講座	

事業の概要とその成果

【派遣者(指導教員, 参加学生)】

(指導教員)三浦 富智大学院保健学研究科医療生命科学領域病態解析科学分野・准教授
(参加学生) 大学院保健学研究科博士後期課程2年 1名
大学院保健学研究科博士後期課程被ばく医療コース1年 1名
大学院保健学研究科博士後期課程1年 1名
大学院保健学研究科博士前期課程被ばく医療コース2年 2名

平成28年 2月22日～平成28年 2月26日

【事業概要とその成果】

【概要】

被ばく医療を含む放射線科学の研究で先進的なストックホルム大学放射線防護研究センター(センター長:アンジェイ・ヴォイチク教授)を訪れ、以下の活動を行った。

1. スtockホルム大学放射線防護研究センターの研究施設の見学
2. スtockホルム大学の学生との相互の研究発表およびディスカッション
3. ヨーロッパにおける放射線事故対策の理解と線量測定等に関する講義と実習の受講
4. ウプサラ大学, カロリンスカ研究所, Scandion陽子線治療クリニック等の見学
5. 博物館, ウプサラ大聖堂等の歴史的建造物の見学

【成果】

これらを通じて以下の成果を得ることが出来た。

1. 研究意欲の向上と、共同研究への発展や新たな知識・技術の習得
2. 多様な国から集まっているストックホルム大学の学生たちとの交流と研究ネットワークの構築
3. Bologna Process(大学間の学位認定の互換制度)やERASMUS+(学生の交流・大学の部局間での協力拡大の支援)といったヨーロッパの教育制度の有用性の認識
4. 市全体の学生支援による留学生の増加が地域活性化に繋がる可能性の認識
5. スtockホルム市同様、弘前市の歴史や文化への造詣とその紹介が来訪者に感銘を与えることの理

解